



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2019.8

No. 425

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



令和元年度(第35回)総会報告

令和元年6月29日(土)さいたま市浦和区浦和コミュニティーセンター9階 第15集會室で、総会を開催しました。(文中敬称略)

●記念講演



午後1時に受付(担当:青木正俊、佐野和宏)を開始し、浅見徹の司会で定刻午後1時30分に記念講演が始まりました。富岡辰先(たつゆき)本部財団事務局長兼普及室長による「初心者向けバードウォッチングの成果と課題」。初心者向けバードウォッチングがなぜスタートしたか、その仕組みや概要、実施のポイントなどについて、結果の数字などを示しながらの話でした。

●議長選出など

海老原美夫代表の開会の挨拶で総会が始まり、議長に石川敏男、書記に吉原俊雄、議事録署名人に近藤龍哉・吉原早苗を選出して、議事に入りました。

●平成30年度事業報告

海老原が事務局長として、映像をまじえ、平成30年度事業について報告し、各部の部長や委員会委員長が補足説明をしました。

【普及活動関係】

普及部(部長:長野誠治)が担当した探鳥会は、年間124回(月平均10.3回)開催、参加者合計4,771人。ともに前年度より若干減少しましたが、一般参加者の割合は増加しました。例年通りリーダー研修会、年末講演会などを開催しました。

その他普及部以外の会員の普及活動は、さ

いたま市立浦和博物館の親子探鳥会、見沼さぎ山交流広場主催「見沼秋フェス2018inさぎ山」にブース出展など、計7件が役員会に報告されました。

【保護活動関係】

日本野鳥の会茨城県から要請を受けて「ハス田に張られた防鳥網にコウノトリが掛かり死亡した事故に対し、防鳥網の適切な管理運用が図られるよう陳情する」との陳情書を茨城県知事に提出し、引き続き野鳥と共存するハス田となることを要請する署名活動に協力しました。

【調査研究関係】

調査部(部長:小林みどり)は、カモ科調査、シギ・チドリ類調査、タカの渡り調査、野鳥データベース作成を続け、データベース登録データ数は210,875件に及びました。

記録委員会(委員長:榎本秀和)は、3件の事例について検討して結果を『しらこぼと』誌上で発表しました。「埼玉県野鳥チェックリスト2019」を作成発行しました。

【広報活動関係】

編集部(部長:山部直喜)は、会誌『しらこぼと』を年12回、合計18,000部発行しました。

IT委員会(委員長:佐野和宏)は、探鳥会参加者、会員の増加をめざし、公式サイトの実績につとめました。サイトで呼びかけてタカの渡りや秋のシギ・チドリ類情報を集め、調査部と協力して集計、会報で発表しました。

【総務・事務局関係】

残念ながら会員数は引き続き減少しました。減少率は2.9%。前年度の減少率4.4%よりはほんの少しだが改善しました。

9月8日(土)～9日(日)群馬県で開催された関東ブロック協議会に、浅見徹、石塚敬二郎、小林みどり、山部直喜の4名が参加しました。

11月9日(土)～10日(日)千葉市内で開催された日本野鳥の会連携団体全国総会に海老原美夫が出席しました。

【事業活動関係】

事業部(部長:相原修一)は、会の財政安定に貢献しました。

●平成30年度収支決算

平成30年度収支決算は右下表(誌面の都合で、一部の項目を合算したものを掲載)の通りです。青木正俊・楠見邦博両監事が監査結果を報告しました。

●令和元年度事業計画・収支予算

令和元年度事業計画案はおおむね従来の事業を継続すること、予算案は前年度支出に近い金額であること、前年度と違う場合はその理由などが説明され、ここまでの議事は1号議案(事業報告)と2号議案(決算)、3号議案(事業計画案)と4号議案(予算案)がそれぞれ一括して、拍手で承認されました。

●令和元年度役員の出選

前年度役員41名を引き続き再任、河邊健(さいたま市=写真左)、千葉秀男(上尾市=写真右)の2名を新任として選出しました。



●代表交代

総会を一旦中止して令和元年度役員による最初の役員会を同じ場所で開催。海老原美夫は代表を退いて副代表に、山部直喜副代表が代表に就任、もう一人の副代表小林みどりと監事2名が留任する案が承認されました。

●令和元年度役員名簿

【代表】 山部直喜(三郷市)

【副代表】 海老原美夫(さいたま市) 小林みどり(さいたま市)

【幹事】 相原修一(鴻巣市) 浅見徹(さいたま市) 新井巖(深谷市) 石井智(鴻巣市) 石川敏男(春日部市) 石塚敬二郎(さいたま市) 石光章(所沢市) 伊藤芳晴(川口市) 井上幹男(長瀨町) 入山博(春日部市) 榎本秀和(鴻巣市) 大井智弘(さいたま市) 河邊健(さいたま市) 小荷田行男(さいたま市) 近藤龍哉(上尾市) 佐野和宏(越谷市) 島

崎敦(入間市) 杉本秀樹(習志野市) 須崎聡(川口市) 鈴木秀治(ふじみ野市) 高崎康晃(さいたま市) 千島康幸(小川町) 千葉秀男(上尾市) 手塚正義(川口市) 長嶋宏之(蓮田市) 中島康夫(蓮田市) 長野誠治(さいたま市) 中村豊己(東松山市) 橋口長和(春日部市) 長谷部謙二(川越市) 菱沼一充(白岡市) 菱沼洋子(白岡市) 廣田純平(上尾市) 藤掛保司(川越市) 茂木幸蔵(行田市) 森本國夫(さいたま市) 吉原早苗(北本市) 吉原俊雄(北本市)

【監事】 青木正俊(さいたま市) 楠見邦博(さいたま市)

●新代表 山部直喜挨拶



このたび代表に選任されましたこと、ご報告申し上げます。前代表の後を引き継ぎ、その重責を果たすべく、精いっぱい努めてまいります。是非とも会員の皆様お一人

お一人のお力添えをお願いいたします。

前代表海老原さんには4年間のご尽力に心より感謝を申し上げます。また、1984年支部発足以来の事務局長及び副代表を引き続きお願いいたします。

日本野鳥の会埼玉平成30年度決算・令和元年度予算

収入の部	項目	30年度決算	元年度予算
一般会計	会費	2,451,800	2,400,000
	探鳥会参加費	503,599	500,000
	事業部会計から入金	840,000	0
	その他	529,401	850,591
	一般会計合計	4,324,800	3,750,591
事業部会計	事業部売上金	915,638	700,000
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	その他	2,225,443	1,525,312
	事業部会計合計	8,141,081	7,225,312
総合計		12,465,881	10,975,903
支出の部	項目	30年度決算	元年度予算案
一般会計	会報印刷費	1,166,400	1,084,752
	会報発送料	711,211	710,000
	家賃	984,000	984,000
	その他	1,463,189	971,839
	一般会計合計	4,324,800	3,750,591
事業部会計	事業部仕入れ金	773,892	700,000
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	一般会計へ支出	840,000	0
	その他	1,527,189	1,525,312
	事業部会計合計	8,141,081	7,225,312
総合計		12,465,881	10,975,903

野鳥記録委員会の最新情報 日本野鳥の会埼玉 野鳥記録委員会

●サバンナシトド

英名 Savannah Sparrow

学名 *Passerculus sandwichensis*

分類 スズメ目ホオジロ科サバンナシトド属



会員の関口明宏さんより、2018年12月26日から翌2019年1月10日にかけて、北足立郡伊奈町で撮影されたサバンナシトドの写真（左ほか3枚）が寄せられました。検討の結果、当委員会はサバンナシトドと確認し、発表することとします。

埼玉県内における本種の記録としては、1991年11月の浦和市（当時。本誌1993年8月112号）、1998年3月の蓮田市（同1998年6月170号）、2016年1月の蓮田市（同2016年3月383号。同年8月388号に分布域に関する訂正記事）に続く4例目となります。

本種は北アメリカ大陸に生息する野鳥で、我が国では迷鳥として稀に記録されます。

私の大好きな“真正ワシ”

松井 昭吾(さいたま市)

『野鳥』2018年12月号p24, 25で、足拓墨師で元恩賜上野動物園園長の小宮氏が執筆された「足拓からわかる鳥の世界 [山鷲対海鷲]」、とても興味深く読みました。



2015, 06, 07 モンゴル「ヨリン・アム」のイヌワシ
(撮影：山部直喜)

「山鷲」は実に良い表現と思います。「我が意を得たり！」という気持ちです。

これは以前、高野伸二さんがワシ・タカ関係の本の中で「真正ワシ」と呼んでいたものと一致します。

つまり、海鷲類とは違うハンティング方法にて分類したもので、学名では正に「*Aquila*」に当たります。その代表選手がイヌワシです。

さらに、カタシロワシ、カラフトワシ、オオストラリアのオナガイヌワシなどのように勇猛な狩りをする真正ワシ（本物のワシ）であり、私の大好きなワシです。

小宮氏は、それぞれイヌワシ（山鷲）とオオワシ（海鷲）の足拓をとり、前側第3趾の爪先から後ろ側第1趾の爪先までの長さを実測し、足の大きさを比較しています。その結果、図体のかいオオワシよりも、厳しい狩りをするイヌワシの方が大きいことを実証しているのです。山鷲の力強さを「よくぞ見事に実証してくれた！」という気持ちです。大いに気持ちを良くしました。

このp24の実物大の「イヌワシの左足」の図が実にいい。オオワシの19.4 cmに対して、堂々たる22.5 cmなんですね！

いろいろと楽しい勉強ができました。



野鳥情報

さいたま市緑区高畑 ◇3月20日、電線にツバメ♂1。4月2日、小さな溝にタシギ1 (鈴木紀雄)。

越谷市中島 ◇4月に入って、中川右岸には、続々とサギたちが集まっている。1日はダイサギ13、コサギ1、アオサギ3だった。集まる目的はまだ罅入りのように、昼間は出かけており、夕方になって入ってくる。しかし、どの個体も婚姻色が出ている。婚姻色狙いなら、当地のこの時季がお勧め(山部直喜)。

さいたま市岩槻区野孫 ◇4月1日、ケリ1が行む。灌木でカシラダカの轉り (鈴木紀雄)。

久喜市菖蒲町下栢間 ◇4月4日午前10時15分、元荒川大御堂橋下流でツバメ1、今季初認 (小貫正徳・優菜・莉子・晴介)。

坂戸市の高麗川 ◇4月6日、天神橋～城山橋の中間ぐらいの所で センダイムシクイの声が聞こえた! (大畑祐二)。

蓮田市閩戸 N36.0087 E139.6339 ◇4月7日、用水路でタシギ2。翌日も同じ場所にいた (関口明宏)。

蓮田市 駒崎・井沼地区農業集落排水処理施設 N36.0128 E139.6254 ◇4月8日、コチドリ2。ここで今季初認。交尾していた。周囲がフェンスで囲まれていて、中に入れない。繁殖が期待される。田んぼで、チョウゲンボウをよく見るようになった。新幹線の高架下で繁殖を始めたのかもしれない (関口明宏)。

春日部市谷原新田 ◇4月9日午前6時42分、快晴の空にハヤブサ成鳥1が谷原中学校上空を東から西へ移動した。5月1日午前7時10分、谷原親水広場北東端の広葉樹から「チョー チョー ジー」の声がした。クヌギの葉の間を移動するセンダイムシクイ1の姿を確認。当地今季初認 (石川敏男)。

春日部市内牧 ◇4月9日午前10時23分、ハイタカ1が田んぼ上空に出現し旋回後、南へ飛去。4月13日午前、内牧黒沼公園の蓮

田にチュウサギ夏羽1が採餌中。当地初認 (石川敏男)。

春日部市下大増新田 ◇現在整備進行中の県営公園予定地の南園近くの草地で4月13日午後5時20分1羽、4月14日午前7時22分2羽、同日午後4時30分3羽、いずれも突然、ウズラが足元から飛び出した。至近にいたが全く気が付かなかった。4月17日午前6時58分、これまでと同じ場所付近で、ウズラ1羽が近くの畔から飛び出した。次いで少し離れた草の中からもう1羽が飛び出した。2羽とも10mほど先の草地に着地、姿を隠した。慎重に歩みを進めるもウズラの方が上手だ。毎回、飛び出して初めてその存在に気づかされる。4月15日朝、同公園南園上空をオオタカ1が北から南へ通過。また、チョウゲンボウ1が同地上空でホバリングを繰り返す。4月22日夕方、同園の南西端の草地にてホオアカ1が飛び出して枯草の茎に止まった (石川敏男)。

蓮田市黒浜沼 ◇4月13日、コガモ14、タシギ2、オオバン6、カイツブリ6、バン1、コチドリ2、オオジュリン、アオジ、カララヒワなど (鈴木紀雄)。

蓮田市東埼玉病院周辺 ◇4月13日、エナガ、アカハラ、コジュケイ、キジバト、シジュウカラ、コゲラ、メジロ、キクイタダキ (鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区平林寺 ◇4月13日、赤坂沼でヨシ原からベニマシコとカワセミの声。ツグミ、ウグイス、ヒヨドリ。水面にマガモ♀、コガモ (鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇4月14日、新緑の中、夏羽で頭が黒くなったアトリ♂2。4月20日、「チョーチョビー」と鳴くセンダイムシクイが緑の中を動き回る。4月21日、カケス2がフワフワと北へ飛ぶ。ガビチョウが大声で鳴く。シメ、ツグミはまだ健在。4月27日、上空でカラス1にモビングされる少々羽根の傷んだサシバ1。さらにその上の空にもう1羽。4月28日、キビタキ♂若鳥1、アカハラ♀1、シメ、ホオジロが轉る。エナガが多い。ツグミは減った (鈴木紀雄)。◇4月16日、元荒川の

水位も上がり、ノウルシの花も満開となった。川にはカルガモ、ヒドリガモ、カイツブリ。ヒヨドリの群れが北へ向かう。コムクドリが飛び回り、キジ、コジュケイが鳴いている。カケス、モズ、ホオジロ、ウグイス、シロハラ、アオジもまだいてくれる（内田克二）。◇4月20日、センダイムシクイ鳴く。シメ2、嘴が鉛色、エナガの数が多（藤原寛治）。

蓮田市西城沼公園周辺 ◇4月14日、ヒヨドリ100±が北に向かって渡って行った。4月15日、昨年の巣の周囲をツバメ1が飛翔。ヒヨドリ16、ツグミ4、カワラヒワ1、カルガモ2。4月16日、久しぶりにコジュケイが轉る。4月20日、オオタカが小さく旋回を繰り返しながら西から東に飛んだ。ヒヨドリ50±の群れが北に飛んだ。コジュケイが鳴く。4月27日、ツバメ3、シジュウカラ5、エナガ2、ツグミ3、ムクドリ8、カルガモ2、キジバト3など（長嶋宏之）。

蓮田市閻戸 ◇4月15日、田んぼでムナグロ4が休んでいた。4月22日、一昨年の秋に自宅の植木に巣箱を掛けてから、初めてシジュウカラが入り、卵を10個産んだ。（関口明宏）。

春日部市武里中野 ◇4月16日午後5時21分、西側のサッカーグラウンドの方からムナグロ16の群れが猛スピードで東へ向けて進入、田んぼをかすめる様に飛び、次に上昇に転じて上空を大きく時計回りに2度旋回した後、北へ飛去した。この間、3分ほどだった。当地今季初認。4月17日午前8時42分、田んぼよりムナグロ7が鳴きながら飛び出し 南西へ遠ざかった。同日午後3時40分、別々の田んぼの畔に2ずつ計4のムナグロが休息。渡りの長旅で疲れているようだった（石川敏男）。

久喜市久喜菖蒲公園 ◇4月16日、浮島で5巢のアオサギが抱卵中のようだ。今季最後のシメか、枝に1。ツグミ6が林床で採餌。コチドリ2が干潟で採餌。冬鳥と夏鳥が同居していた。ドバトの群れに真っ白いドバト1がいた（右上写真）。他にヒドリガモ、コガモ、マガモ、オオバン、コサギ、ウグ

イス、シジュウカラ、ハクセキレイなど（長嶋宏之）。



春日部市薄谷 ◇4月17日午前7時20分、春日部メモリアルパーク（墓苑）の南側の田起こし田にムナグロ15がまとまって採餌していた。方向的には昨日、ここより南の武里中野田んぼで見た群れと思われる（石川敏男）。

春日部市一ノ割 ◇4月17日午後2時45分～2時49分、曇り空にムナグロ10の群れが大きく旋回し、着地することなく、北東へ飛去した（石川敏男）。

さいたま市桜区上大久保 ◇4月23日、作田調整池でカルガモ親子。幼鳥は12羽。ごく小さくて、顔は濃い黄色。5月22日、幼鳥は4羽に減った。親のほぼ半分の大きさ。餌付けされているので、人の近くに集まりがち（大塚純子）。

蓮田市貝塚山ノ神沼 ◇4月23日、ゴイサギ若鳥6、成鳥2。オオバン4、コサギ1、ヒバリ2、カルガモ15、ムナグロ15。他にツバメ、ツグミ、ムクドリ、スズメ、ヒヨドリ、キジバト、ハシボソガラスなど（長嶋宏之）。

白岡市総合運動公園 ◇4月23日、コガモ♂2、♀3、カルガモ10、ヒドリガモ♂1、カイツブリ1、コサギ3、コチドリ1、チョウゲンボウ1、オオタカ1、キジ声、ヒヨドリ5、ムクドリ6、スズメ2など（長嶋宏之）。

表紙の写真

タカ目タカ科ハイタカ属ツミ

昨年8月、幼鳥がアブラゼミを食べていた。自分で見つけたおやつかな。

チャリバーダー46（さいたま市）



行事案内



バン親子 (編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。**体調を整えてご参加ください。**

参加費：中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

持ち物：健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合、正午から午後 1 時ごろ。

悪天候や、**暑さ指数 (WBGT) 予報が「危険」の場合は中止します。「嚴重警戒」の場合は中止することもあります (7月号 P8「探鳥会における熱中症対策ガイドライン」参照)。**

時刻表の変更にご注意の上、できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

埼玉 Young 探鳥会 室内会 鳥の消しゴムハンコを作ろう (初級編) (要予約)

期日：8月3日 (土)

詳細は、7月号6ページの「はみ出し行事案内」をご覧ください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月4日 (日)

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR 高崎線 北本駅西口から、「北里大学メディカルセンター行き」バス 8:38 発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大畑、岡安、近藤、柴田、千葉、飛田、永野、村上(政)、吉原(早)

見どころ：昨年は猛暑のため、中止にしました。木陰が多く、風があれば意外と涼しい石戸宿ですが、去年は体温以上の気温のためか、木陰でも風が吹くとムッと暑く、30分も経たないで耐えられないと感じました。中止にして本当に良かったと実感しました。今年もたとえ実施できたとしても、無理と思ったら直ぐに学習センターに避難し、即中止にするつもりです。8月は暑いだけでなく鳥は隠れています。そのため、トンボ、蝶および植物観察も行いたいと思

います。涼しかったら是非ご参加ください。

越谷市・サギのコロニー観察会 その2

期日：8月10日 (土)

集合：吉川市吉川、中川水道橋下。

交通：JR 吉川駅北口、茨急バス③乗り場 16:50 発で「川富」下車、進行方向の交差点を左折徒歩 100 m。その後も約 20 分間隔でバス運行。駐車場無し。

解散：日没 18:38 ころ、現地で。

担当：橋口、佐野、山部

見どころ：7月に続いて、今季2回目の観察会です。中川右岸(越谷市)のサギのコロニーを対岸の吉川市側から定点観察します。コサギ、アマサギ、チュウサギ、ダイサギ、アオサギ、ゴイサギが数百羽集合しています。定点観察なので集合時間に関係なくご参加ください。

千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月11日 (日)

集合：午前9時30分、JR 京葉線 南船橋駅前。

交通：JR 武蔵野線(京葉線直通) 武蔵浦和 8:27→南浦和 8:31→南船橋 9:22 着。

解散：正午ころ、現地で。

担当：杉本、伊藤、手塚、長谷部、菱沼(一)、菱沼(洋)、渡邊

見どころ：繁殖地から帰る途中のシギ・チドリを観察します。干潟はもう秋です。

千葉県・ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会

期日：8月17日(土)

集合：午前9時30分、ふなばし三番瀬海浜公園バス停留所付近。(ご注意：JR船橋駅での受付はしません。)

交通：JR武蔵野線 南浦和7:44→西船橋で総武線8:35に乗換え、船橋8:38着。京成バス9:00発 船橋海浜公園行きに乗車し、終点下車。京成バス乗り場は京成船橋駅付近にあります。リーダーの案内に従ってください。

担当：菱沼(一)、佐久間、佐野、杉本、渡邊
見どころ：大潮で12時頃が干潮なのでおおよそ潮が引いた状態です。越夏中のミヤコドリと渡り途中のシギたち。アジサシ類も期待しましょう。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月17日(土) 午後3時～4時ころ
会場：会事務局108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：8月18日(日)

集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
交通：JR北浦和駅東口、正面信号を左側から渡り、50m先左手バスターミナルから東武バス「さいたま市立病院」行き8:23発で終点下車。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：小林(み)、青木、浅見(徹)、浅見(健)、楠見、小菅、畠山

見どころ：ネクタイが細くて短いシジュウカラ、口の中が真っ赤なカラス、顔の模様が薄いスズメ…みんな今年生まれの幼鳥です。探してみましょう。

リーダー研修会(要予約)

期日：9月1日(日) 午前9時30分～午後4時30分(受付開始：午前9時)。

会場：北本市・埼玉県自然学習センター

交通：JR高崎線 北本駅西口から、「北里大学メディカルセンター行き」バス8:38発で

「自然観察公園前」下車。

申し込み：初めてリーダー研修会に参加される方は、往復はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、推薦者の氏名(記載必須)を明記して、長野誠治()へ。

8月16日(金)必着。役員・リーダーの方も電話またはメールで、必ず事前に参加申し込みをお願いします。

初めての方の参加資格：探鳥会にリーダーとして協力できる埼玉会員で、役員かリーダー1名以上から推薦された方。

その他：①筆記用具と簡単な観察用具を持参してください。②昼食(弁当)は普及部で用意します。

長野県松本市・白樺峠平日日帰り探鳥会(要予約)

期日：9月18日(水)

集合：午前6時30分 大宮駅東口、または午前7時 川越駅西口の2カ所。

解散：午後9時30分 川越駅西口、または午後10時 大宮駅東口の2カ所の予定。

※高速道路の渋滞等により変更の場合あり。

交通：貸切りバス(中型・27人乗り)を使用。

募集：21名(最少催行人数14名)

費用：15,000円前後の予定。(貸切りバス代、夜食代等)過不足の場合、当日清算。

申し込み：往復葉書に住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記して、入山博()まで。8月1日以降の消印から有効受付とします。

担当：入山、石塚(敬)、近藤、佐野、長谷部、藤澤

見どころ：タカの渡りで有名な白樺峠に日帰りで行きます。運が良ければ、目の前で数十羽のタカ柱や頭上すれすれを飛ぶサシバを見ることが出来ます。

その他：①探鳥会当日の天気予報が雨天の場合、探鳥会を中止することがあります。②駐車場からたか見の広場まで約30分、上りの山道です。そこを観察用具や弁当等を持って歩く体力が必要です。

2019年9月～12月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。変更されることもありますので、確定情報は、その月の会報『しらこぼと』の行事案内でご確認ください。

月	日	曜日	探鳥地など
9	1	日	リーダー研修会
	7	土	羽を知る探鳥会 (長瀬)
	15	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	16	祝月	さいたま市 大久保農耕地 (シギ・チドリ類調査)
	18	水	長野県白樺峠・上高地 (要予約)
	22	祝日	狭山市 入間川 [定例]
	22	祝日	寄居町 中間平 (タカの渡り調査)
	23	振月	飯能市 天覧山 (タカの渡り調査)
10	28	土	松伏町 松伏記念公園
	6	日	北本市 石戸宿 [定例]
	6	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	6	日	川越市 伊佐沼 (ヤング)
	13	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	19	土	加須市 渡良瀬遊水地
	20	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	26	土	行田市 さきたま古墳公園
26-27	土-日	長野県 戸隠高原 (要予約)	
11	2	土	上尾市 丸山公園
	3	祝日	松伏町 まつぶし緑の丘公園 *
	4	振月	さいたま市 大宮第二公園
	7	木	羽生市 羽生水郷公園 (平日)
	9-10	土-日	宮城県 蕪栗沼 (要予約)
	10	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	16	土	さいたま市 見沼自然公園 *
	16	土	春日部市 内牧公園
	17	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	17	日	嵐山町 菅谷館都幾川
	23	祝土	本庄市 坂東大橋
	23	祝土	志木市 柳瀬川
	23	祝土	東京都 東京港野鳥公園バードスケッチ会 (ヤング)
	24	日	蓮田市 黒浜沼
24	日	狭山市 入間川 [定例]	
27	水	戸田市 彩湖 (平日)	
30	土	所沢市 狭山湖	
30	土	加須市 渡良瀬遊水地	
12	1	日	北本市 石戸宿 [定例] **
	1	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	5	木	加須市 渡良瀬遊水地 (平日)
	8	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	12	木	加須市 加須はなさき公園 (平日)

12	13-14	金-土	山梨県清里高原・長野県野辺山高原 (レディース、要予約)
	14	土	さいたま市 岩槻文化公園
	15	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	15	日	滑川町 武蔵丘陵森林公園
	18	水	さいたま市 彩湖 (平日)
	21	土	幸手市 宇和田公園
	22	日	年末講演会
1	4	土	さいたま市 さぎ山記念公園

* ビギナー探鳥会を併設 (万人向き)

** ビギナー探鳥会を併設 (ヤング、親子向き)

「こんな鳥を見たい!」という方へ

本会ウェブサイトのトップページ左側のメニューの中に「探鳥会出現鳥検索」というのがあります。最近5年(2014～2018年)の県内探鳥会について、見たい鳥がどこの探鳥会で出たのか調べられるデータベースです。鳥を「科」から指定するのがちょっとマニアック。なお、名前の出てこない鳥は、記録がないということです。

受け継がれているもの 我が家の場合 大塚純子(さいたま市)

県外に住む子ども達から、時々地元の鳥情報が届く。

「近所でサギのコロニーを発見! 数種が混在し、騒がしい」。

「夜道でフクロウに遭遇。電線の上からこちらを見ていた。音もなく飛び去り、ちょっと怖かった」。

「青葉山でホトトギスを聞いた」、等々。

鳥だ、野草だ、昆虫だとはしゃぐ両親の影響か、彼等なりに野鳥に親しんでいるらしい。

先頃は、岐阜県本巣郡から「休耕田でケリ」の報告。自転車通勤中によく見かけるので気になり、図鑑で調べたという。

茨城県のハス田の署名にも協力してくれた。「ひとりで見るのもいいけれど、探鳥会も楽しいよ」と勧めているところ。

身近な自然と生き物に寄せる関心をこれからも大切に、後々へ伝えて欲しいと思う。



2月23日(土) さいたま市 岩槻文化公園 親子

参加：13(会員8)名 天気：晴

ヒドリガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ ダイサギ オオバン イカルチドリ トビ オオタカ コゲラ ハヤブサ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ エナガ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ (28種) (番外：ドバト) 開始早々オオタカ登場！も、お子様が上手く双眼鏡を覗けなくてメソメソ……。終了時にはもち直して「また来るー！」……ホッ。(石塚敬二郎)

2月24日(日) 本庄市 坂東大橋

参加：32(会員31)名 天気：晴

キジ オカヨシガモ ヨシガモ マガモ カルガモ オナガガモ コガモ ホオジロガモ ミコアイサ カワアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ミサゴ トビ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ コチョウゲンボウ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス エナガ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (41種) (番外：ドバト、ガビチョウ、カオジロガビチョウ) スタートしてすぐに猛禽類が次々と現れ、盛り上がる。河川敷では真っ赤なベニマシコを全員で見ることができ、ウグイスの初鳴きも聞こえた。水辺に進むとミコアイサ♂♀、カワアイサ、ホオジロガモ、ヨシガモ、カンムリカイツブリなど人気者が勢揃い。(新井 巖)

3月2日(土) 千葉県 銚子漁港

参加：33(会員33)名 天気：晴

銚子漁港：ヒドリガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ クログモ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ ヒメウ カワウ ウミウ アオサギ オオバン ミツユビカモメ ユリカモメ

ウミネコ カモメ ワシカモメ シロカモメ カナダカモメ セグロカモメ オオセグロカモメ トビ ハヤブサ ハシボソガラス ハシブトガラス ヒヨドリ ムクドリ ツグミ イソヒヨドリ スズメ ハクセキレイ (31種) 浮島湿原：カワウ アオサギ ダイサギ チュウヒ ハイイロチュウヒ オオタカ コチョウゲンボウ モズ ミヤマガラス ツグミ スズメ カワラヒワ コジュリン オオジュリン (14種) 銚子漁港は水揚げの日に当たり沢山のカモメ達が漁船の周りを乱舞。「凄い」の一言。堤防で休んでいるカモメを識別していたらもうお昼。新鮮なお刺身とマグロのカブト焼きで舌鼓！ お腹が一杯になったところで浮島に移動。木々に止まっているチュウヒやコチョウゲンボウ等を見る事が出来た。最後にハイイロチュウヒ♂が飛んでくれた。(入山 博)

3月2日(土) 行田市 さきたま古墳公園

参加：22(会員19)名 天気：晴

コガモ キジバト アオサギ バン トビ オオタカ コゲラ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ オオジュリン (25種) (番外：ドバト) リーダー泣かせの強風、それでも森ではオオタカが飛び、シメは多い。畑ではヒバリが飛ばずに地面で囀り、上空にはトビやチョウゲンボウも。ヨシ原ではオオジュリンが鳴き、ジョウビタキやホオジロも現れた。(相原修一)

3月2日(土) さいたま市 彩湖

参加：34(会員31)名 天気：晴

キジ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ホオジロガモ ミコアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ ダイサギ オオバン イカルチドリ イソシギ ユリカモメ カモメ セグロカモメ トビ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ベニマシコ ホオジロ アオジ (33種) (番外：ドバト) いよいよ今季最後。湖面にはミコアイサ、定番ホオジロガモ、衣替えの進んだカンムリカイツブリ……。彩湖の天敵“風”に悩まされ、ベニマシコはしきりに声

はすれど……。

(石塚敬二郎)

3月3日(日) 寄居町 玉淀河原

参加: 18(会員16)名 天気: 小雨

マガモ カルガモ オナガガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ イカルチドリ クサシギ トビ カワセミ コゲラ アカゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ ツグミ イソヒヨドリ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ アオジ (35種) (番外: ドバト、ガビチョウ) 集合時刻前から野鳥観察が始まり、昨年も現れたイソヒヨドリ、上空をカワウが飛んでいた。河原では3種類のセキレイ、残ったカモが水辺にいた。荒川沿いでは小鳥が飛びかい、雀宮公園ではアトリの群れを全員で観察。玉淀河原ではカワラヒワが砂地と草地の境に群れていた。(茂木幸蔵)

3月3日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加: 32(会員28)名 天気: 雨

キジ オシドリ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト アオサギ バン オオバン タシギ ハイタカ オオタカ カワセミ アリスイ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ ベニマシコ シメ ホオジロ アオジ オオジュリン (32種) (番外: ドバト) 午前中は降らないとの予報だったが……傘をさして出発。どれだけの鳥に出会えるか心配だったが、沼にはオシドリ! ♂3羽♀1羽。ここではかなり珍しい。このオシドリをオオタカが飛ばす。ホタルの里ではカワセミも現れた。キジの姿を見た人、アリスイの声を聞いた人もいた。早めに切り上げたが、結構いろいろな鳥に会えた。(小林みどり)

3月5日(火) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加: 39(会員34)名 天気: 晴

マガモ カルガモ ハシビロガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ クイナ オオタカ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス キクイタダキ ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ

ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ ツグミ ルリビタキ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ ビンズイ カワラヒワ シメ イカル ホオジロ アオジ (37種) (番外: ガビチョウ) 藪の中に背中の青いルリビタキ。松の木のの上の方にはキクイタダキ、一緒にヒガラの姿もあった。ビンズイは数羽が見られた。山田大沼のカモはさらに減ったが、美しく飾ったハシビロガモやコガモの音が響いていた。森の中ではヤマガラやシジュウカラがさえずり、ウグイスのホーホケキョも聞こえた。(中村豊己)

3月9日(土) さいたま市 見沼自然公園

参加: 27(会員25)名 天気: 晴

オカヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ トモエガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ ダイサギ バン オオバン タシギ オオタカ ノスリ カワセミ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (39種) 第10回見沼たんぼクリーン大作戦に参戦。ビニール袋を手にゴミ拾い。年ごとにゴミが減っていく印象を受けるが、水路や川べりには相変わらず不法投棄ゴミが散在。ゴミゼロを目指して、これからもよろしく。(浅見 徹)

3月9日(土) 所沢市 狭山湖

参加: 30(会員22)名 天気: 晴

カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ トビ コゲラ アオゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ シメ アオジ (27種) (番外: ドバト、ガビチョウ) 3月上旬にしてカモ類はすでに渡去。辛うじて残っていたカンムリカイツブリ、ハジロカイツブリの中に、夏羽の個体が1羽ずついて目を楽しませてくれた。アオゲラの声に耳をそばだて、ウグイスの初音を聴き、揚げヒバリに聴き入り、耳に楽しい探鳥会だった。「吹く風は いまだ冷たき湖に 揚げヒバリ鳴き 空は春めく」(石光 章)



●(公財)日本野鳥の会会長交代など

柳生博会長が名誉会長に、上田恵介立教大
学名誉教授・評議員長が新会長に、遠藤孝一
理事長と佐藤仁志島根大学非常勤講師が副
会長になりました。新会長は当会(埼玉)の会
員です。また、当会副代表の小林みどりが評
議員に就任しました。

●会員の写真展

当会(埼玉)会員であり、国際的に評価の高
い自然写真家・嶋田忠の個展「野生の瞬間-
華麗なる鳥の世界」が開催されています。
場所:東京都写真美術館(恵比寿ガーデンブ
レス内、JR 恵比寿駅東口から徒歩約7分)
期間:7月23日(火)~9月23日(月祝)
開館時間:通常 10:00-18:00(例外あり)
休館日:通常毎週月曜日(例外あり)
観覧料:一般700円、学生600円、中高生と
65歳以上500円、その他団体割引など。
連続対談や特別上映などもあります。詳し
くは「嶋田忠-野生の瞬間-東京都写真美術
館」で検索してください。

●会員の普及活動

6月8日(土)さいたま市立浦和博物館主
催「親子探鳥会」が開催され、楠見邦博、小
菅靖、畠山孝、石塚敬二郎が指導。同館付近
の見沼田んぼで、12組 32名の参加者と一緒
に17種の鳥を観察しました。

本部普及室から小冊子「なぜカルガモは
引越すの?~鳥のふしぎ相談室~」無
料プレゼントのPRに協力を依頼するメー
ルが届いたので、海老原美夫が6月15日(土)
読売新聞朝刊埼玉県版「動物日記」欄で紹介

しました。本部には、24日(月)までに約200
人から申し込みが届きました。

●会員数は

7月1日現在1,594人です。

活動と予定

●6月の活動

6月8日(土)『しらこぼと』7月号校正(海
老原教子、海老原美夫、志村佐治、藤掛保
司)。

6月15日(土)『しらこぼと』7月号を pdf
化して本部総務室に送信。全国配布を依頼
した(海老原美夫)

6月16日(日)役員会(司会:長谷部謙二、各
部・委員会等の報告、総会の役割分担の話
し合い、など)。

6月17日(月)『野鳥』誌と同封発送しない
会員向け『しらこぼと』7月号を郵便局か
ら発送した(海老原美夫、山部直喜)。

6月25日(火)越谷市環境審議会委員の委嘱
を受け、同審議会に出席した(山部直喜)。

●8月の予定

8月3日(土) 編集部会(午後4時から)。

8月10日(土) 9月号校正(午後4時から)。

8月17日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

8月18日(日) 役員会(午後4時から)。

8月31日(土) 普及部会(午後4時から)。

編集後記

4月号「『1→0』だけは嫌だ!」を实践
している。6月末現在、約20人の方に現場
で直接私の思いを伝えた。山場は巢立ち前後
だ。トラブルは覚悟している。その時、私に
勇気を与えてくれるのは、賛同の意を届けて
くれた葉書きや会員の声である。(山部)

しらこぼと 2019年8月号(第425号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 山部直喜 編集発行 日本野鳥の会埼玉 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4
丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
郵便振替 00190-3-121130 URL <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org
編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org
住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル
(公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断
転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社